

東京支部ニューズレター

発行：2015年9月30日 発行者：日本カトリック看護協会（JCNA）東京支部
事務局：〒161-8550 東京都新宿区中落合2-5-1 聖母病院内（支部長、西村晶子）
Tel:03-3951-1111 E-mail:jcnatoukyousibu@yahoo.co.jp

<JCNA 東京支部長ご挨拶>

JCNA 東京支部長 西村晶子

「2014 年度東京支部総会を終えて」

不安定なお天気が続くこの頃、皆様にはお元氣のことと思います。8月29日定例のJCNA東京支部の総会を無事に終えることができました。2014年度は、何と言っても第56回JCNA全国大会in東京を、谷口弘子大会長を先頭に、みんなが心をつなげて準備し成功させることができたことだと思います。共に喜び、神様に感謝したいと思います。皆さまのご協力に心からかお礼申し上げます。

支部役員は全員継続で承認され、2015年度に向かってスタートしました。支部の課題は、どうしてもしたら会員を増やすことができるかということがあげられました。会員が少ないということは、予算が少ないこと、やりたい計画が思うようにできないということにもつながっていきます。対策については、身近なところから声を掛け合い、関心を持ち続け、会員が増えるよう祈りつつ、行動をしていきたいと思っています。職場の看護師、所属する教会へのニューズレターの配布などを通して呼びかけることは有効だと思います。

勉強会は、JCMA（日本カトリック医師会）東京支部の月例会のご案内に積極的に参加しようということを確認しました。参加料金も一人1,000円～無料もあります。できるだけ各個人宛連絡をしたいと思いまので積極的参加をお願いします。

総会での討議の後には、バレンタイン・デ・スーザ神父さまより「分かち合い」についてご講演いただきました。そしてみんなで分かち合い、幸せなひとときでした。

まもなく第57回広島大会です、広島でお会いしましょう。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

<2014年度 JCNA 東京支部総会のご報告>

日時：2015年8月29日（土）13:00～16:00

場所：聖母病院、5階講義室

参加者：14名、委任状 8名

★2014年度活動報告および会計決算報告（別紙）は承認されました

【2014年度活動報告】

1. 支部役員会 開催：7回
2. ニューズレター発行：36・37・38号
3. JCNA・JCMA 合同黙想会 開催：12月7日（日）場所、聖母病院聖堂
指導司祭 顧問司祭バレンタイン・デ・スーザ師
参加者 JCNA 12名、JCMA 9名
4. クリスマス会 開催：12月13日（土）ミサ（バレンタイン・デ・スーザ師司式）と集い
参加者 10名

★2015年度活動計画および予算（別紙）は承認されました

【2015年度活動計画】（ ）内は担当者

*支部役員は全員継続

*2014年度の活動を基本的に継続して取り組む

- 1) 黙想会 (JCMA と合同) : 12月 開催 (千田、谷口)
- 2) クリスマス会 : 12月 開催 (千田、谷口、)
- 3) ニュースレターの発行 (Sr.東野・石原)
- 4) JCNA 紹介・会員募集 (全役員)
- 5) 勉強会 : JCMA 東京支部の月例会のご案内に積極的に参加、会員への情報提供
(千田、石原)
- 6) その他 : 支援事業として、池袋医療班への支援、他

☆ 本部からの要請で、会計監査を推薦しました : 藤井智恵美、石原貴子

☆ 日本カトリック「正義と平和」全国集会 2015 東京大会実行委員会よりの救護班の要請があり、
以下の方を推薦しました :

9月21日 12~19時 (カテドラル) : 西村晶子、石原貴子

9月23日 9~13時 (同上) : 尾谷洋子、石原貴子

★ 総会での討議のあと、顧問司祭よりの講演がありました。

参加者から、その内容とご感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

【バレンタイン・デ・スーザ神父様の特別講演 「分かち合い」 から】

聖ヨハネ会桜町病院 石原貴子

先日の総会討議の後、神父様に「分かち合い」についてお話しいただきました。

昨年の全国大会で、分かち合いの前にお話しいただいた内容が、さらに深まりました。

まず、背筋を伸ばし、目を閉じて沈黙します。(とても長く感じました。)

1. 出発は沈黙です。

心から聴くために沈黙が必要です。聞く (hear) のではなく、聴く (listen) のです。自分のフィルターを通して聴かないようにしましょう。毎日の忙しさは心を亡くしています。相手に時間をあげましょう。

必要なもの (need) はわずかで、欲しいもの (want) は限りありません。want だけでは、自分にも他人にも不満がでます。本当に必要なものを見極めことが大切です。

2. 相手を尊敬しましょう。

自分と異なる意見に耳を傾け、相手の立場を立てましょう。相手から受けるものがあるはず
です。

3. 各自の持っているものを与えます。

シェアリング、ブレインストーミング (自由に意見を出し合う) をしましょう。

4. 正直に開いた心で話します。

共同体の成長のために、開いた心で話しましょう。自分の我がが出てきたらもう一度心を開き
ます。批判はしません。

5. 全員が意見を述べたら、次の話題に移ります。

全員が満足するように、同じ人ばかりが話さないようにしましょう。

6. この場だけの話にしましょう。

他の場所で公言しない。信頼関係が必要です。言葉を選び、考えて発言しましょう。

7. 分かち合いに、正しい、正しくないという判断はありません。もし、間違っていたら、謝る
勇気を持つことは大切です。反応 (react) ではなく、行動 (act) しましょう。

8. 問題解決は不要です。

アドバイスはしません。一緒にいることが大切です。ひとりひとりの中に神様は存在してい
ます。

会議、意見交換も「分かち合い」だそうです。これからの会議は上手いきそうですか？

最後に、近年、「ありがとう」の言葉が減っていると神父様は仰いました。皆さんはいかがです

か？私は「ありがとう」が、「どうも」や「すみません」にとって変わっているような気がしました。意識して「ありがとう」と言おうと決めました。

バレンタイン神父様 ありがとうございます。

- * 神父様のご講演の後、参加者による「分かち合い」についての意見交換が行われました。各自がお話しいただいたことを意識しつつ、有意義な「分かち合い」の時を持つことが出来ました。今年度はとても充実した支部総会となり、主に感謝です。

<顧問司祭バレンタイン・デ・スーザ師の記事>

*以下にご紹介させていただくのは、2015年8月15日に発行された、聖母病院の聖母ニュースに掲載された記事、「チャプレンからのメッセージ」です。とても素晴らしいので、ご了解を得て、このニューズレターに転記させていただきました。

「NO. という返事」

バレンタイン・デ・スーザ S.J

NO. ということば聞いた時、どんな気持ちになりますか？誰でも、自分の生活の中で、NO. を YES. に変えるパワーがあります。

例えば、・・・

- ・自分の悪い習慣を取り除いてほしいと祈ったのに、神さまが私にくれた返事は NO. です。神さまによると、それはあなたが退けるもの、それから自由になるのはあなた自身ですよ、との返事です。
- ・自分の様々なハンディキャップ（生活、家庭、人々との関わり、環境などなど）から自由にしてください、と神さまに願ったのに、神さまの応えは NO. でした。精神は完成されています。体は限界あるもの、ハンディキャップは体のものです。
- ・自分に忍耐（我慢ではなくて）が与えられるように神さまに願いました。ところが、神さまの応えは NO. でした。忍耐は艱難（試練、苦難）などの副産物です、と。
- ・自分が幸せになれるようにと、神さまにお願いしました。神さまは NO. と応えて、次のように言われました。あなたに祝福を与えます。— 幸せになることは、あなた自身の歩みによるものです。あなたにまかせます。
- ・自分がペイン（苦痛）から解放され、救われるように願いました。神さまの返事は NO. です。神さまは言われました。苦しみは、あなたを世間的なわずらわしさから離して新しく歩ませることが出来、それと同時に、私（神さま）に近づかせます。
- ・神さまに、自分のたましいを、霊的・精神的・物質的に成長させてほしいと願いました。神さまは NO. と応え、あなたは自分自身で成長して歩みなさい、と言われました。神さまは、あなたを手入れして豊かになるようにします。
- ・自分が豊かに成長できるように、神さまにお願いしました。神さまは NO. と応え、更に、あなたは自分自身で成長しなさい、私があなたを培ってあげます、と言われました。
- ・自分が楽しい生活をするために、神さまに、何でも与えてくださいと頼みました。神さまの返事は NO. でした。私はあなたにいのちを与えます。こだわり・狭い心・偏見から自由になり、あなたが何でも楽しめるように。
- ・自分が周りの人々を愛し、親しくし、好きになれるように、仲良くできるように、神さまにお願いしました。神さまが私たちを愛しているように、また私たちが神さまのように広い心で人々と関われるようにと。神さまは NO. と応え、やっと大事なところにたどり着きましたね、と言われました。この一日はあなたのもので。無駄にしないでください。それをあなたの旅にしなさい。植えられたところに咲きなさい。今歩むべき道を歩みなさい。この一日の中に、恵みが一杯あるのです。

あなたは世界にとって、一人の人間にすぎないのです。けれども、周りの誰かにとって、あなたは世界です。大事な人間なのです。

神さまがあなたを豊かに祝福されますように。み顔を照らされますように。安心して暮らし、永遠に向かって歩ませてくださいますように。

親しい、良い友達は星のようです。いつも見ることはできないけれど、いつも存在していることを知っています。

<教皇フランシスコのおことば>

2014年4月19日、サンピエトロ大聖堂で、教皇フランシスコは復活徹夜祭のミサをささげられました。ミサにおける教皇さまのお説教の一部をご紹介します。

「ガリラヤに帰りなさい」

教皇フランシスコ

……イエスは、かねて言われていた通り、復活されました……。そして弟子たちは女性たちを通して、ガリラヤに行くようにと命じられます。……「ガリラヤへ行くように……。そこで私に会うことになる。」「恐れることはない。」「ガリラヤに行きなさい。」

ガリラヤは弟子たちが最初に召しだされ、すべてがそこで始まった場所です。そこに帰りなさい。最初に召しだされた場所に帰りなさい。イエスは、湖のほとりで、漁師たちが網を打っているところを通りかかります。イエスが漁師たちを招くと、彼らはすべてを捨ててイエスに従いました（マタイ 4・18—22 参照）。……

私たち一人ひとりにとっても、イエスとの歩みの初めに「ガリラヤ」があります。「ガリラヤへ行く」とは、私たちにあって、生きた泉である自分の洗礼を再発見し、自分の信仰とキリスト教的体験の源泉から新たな力をくみとることです。ガリラヤに帰るとは、何よりも、歩みの初めに神の恵みが私に触れた、発火点に帰ることです。私はこの火花から、今日の、またすべての日のために火をともし、兄弟姉妹に温もりと光をもたらすことができるのです。……

キリスト信者の生活には、洗礼の後、もう一つの「ガリラヤ」があります。それはより実存的な「ガリラヤ」です。ご自分に従い、その使命にあずかるように私を招く、イエス・キリストとの個人的な出会いです。その意味で、ガリラヤに帰るとは、心の中でこの招きの生き生きとした記憶を保つことです。そのとき、イエスは私の前を通り、あわれみのまなざしをもって私を見つめ、ご自分に従うように求めます。ガリラヤに帰るとは、イエスの目が私を捕らえ、私を愛しておられることを感じさせて下さった時を思い起こすことです。

今日、この夜、私たちはおのおの自問しなければなりません。私のガリラヤとは何でしょうか。そのために、思い起こし、記憶の奥底に赴かなければなりません。私のガリラヤとはどこでしょうか。私はそれを忘れてしまったのでしょうか。探みなさい。そうすれば、見つかるでしょう。主はそこであなたを待っておられます。私は、さまざまな道を歩いているうちに、忘れてしまっています。主よ、私をお助け下さい。私のガリラヤとはどこか、お教えください。あなたは知っておられます。私がそこに帰り、あなたと出会い、あなたのあわれみに抱きしめていただきたいと望んでいることを。恐れることはありません。ガリラヤに帰りなさい。……

<お知らせ>

★第57回日本カトリック看護協会全国大会 in 広島 が開催されます。

日時：2015年10月23日（金）13：00より10月24日（土）13：00まで

場所：世界平和記念聖堂/原爆資料館/TKP ガーデンシティ広島

大会テーマ：“平和への希求・時代を生きる私たちの選択”

*広島平和記念資料館の見学もあります。